

すずらん通信

Vol.65
令和7年
10月3日
発行

不登校相談会と補助金

8月末に行われました不登校相談会では、50組149件と昨年より少ない人数となりました。この日も猛暑日となり、親御さんの足どりも夏バテで少なかったのかも知れません。それでも鈴蘭学園のブースには9組の方が相談に訪れてくれました。うち3組はその後に鈴蘭学園の見学につながり、1組は契約となりました。過去を遡ってみても不登校相談会から契約になった方はいませんでした。これも9月から始まった相模原市フリースクール等利用児童生徒支援事業補助金の影響かも知れません。各家庭に最大月額20,000円の補助金が出る制度で、これを利用して不登校のお子さんの居場所がもっと身近になれば良いと感じました。今回も不登校相談会に来て下さった親御さんお子さん、暑い中ありがとうございます。(中村 鳴美)

派遣研修員という立場から

見えるもの

4月から鈴蘭学園・リリーベルで過ごす中で感じる学校との違いは、活動内容や時間にゆとりと余白があるということです。「何をしてもいいし何もなくてもいい。」という子どもの意思を尊重した選択肢があることで、安心感や新しいことに挑戦する意欲をもつことができるのだと感じています。子どもたちの繊細な心の機微に

寄り添うことのできる支援者でありたいです。(小林)

フリ・フリ・フェスタ2025

今年もやってまいりました。フリ・フリ・フェスタの季節です。鈴蘭学園は昨年より雑貨店から飲食店へと変貌を遂げ、フランクフルト店になりました。今年はさらにお茶とラムネも品揃えに加えました。昨年の状況を見るに飲み物は飛ぶように売れるはず…! だったのですが、天候が悪く、イベント全体の客足が鈍る結果になってしまいました。

しかし、今年は子どもたちがしっかりと店番をしてくれました。準備や片付け、商品や代金の受け渡し、売上げの心配までなんでもしてくれました。昨年よりも頼もしくなったその姿を見られれば、鈴蘭学園のフリ・フリ・フェスタは成功なのです。

(菅原 雅史)



リリーベル 矢部 だより

今月のひとこと

本当に今年の夏の暑さは大変なものでしたね…。皆様も、秋の気配にホッと一息つかれているのではないのでしょうか。運動の秋、食欲の秋、芸術の秋…たくさんの素敵な秋を、お子さん達と一緒に見つけたいと思います!

8月・9月

リリーベル縁日

リリーベル恒例の縁日週間です! くじ引き、わたあめ、チョコバナナにかき氷、ヨーヨーつりなど、子どもたちも一生懸命準備して、おもしろく楽しみました!



ハッピー♡ラボ

今回も出店させていただいたハッピーラボですが、前回の経験を踏まえ、子どもたちからたくさんのアイデアが! さらにパワーアップした内容で出店することができました。当日もみんなおつかれさま!





リーベルさがみはら



保護犬や保護猫のカフェにお出かけしました。子どもたちはとても楽しみにしていて、普段は電車やバスに乗ることに少し不安を抱えているような子も、行きたい気持ちが勝り、自分なりに対策を立てながら参加することができました。犬や猫の柔らかい毛を撫でたり、かわいい様子を眺めたりする姿は、いつもより表情が穏やかだったり、リアクションが大きかったり、感情を豊かに動かしているようでした。動物とのふれあいは、元気や癒しの力があるんだなぁと改めて感じたお出かけになりました。



スタッフ日記

先日、フリ・フリ・フェスタ2025にて西野博之さん主催の講演会に登壇させていただきました。西野さんは私が不登校だった小学6年生の頃に通っていた施設の理事長先生で、今回このような形でお会いできてとても嬉しかったです。不登校のお子さんを持つ保護者の立場と、不登校だった子どもの立場とがあり、私はもう1人の高校生の方と一緒に、不登校だった子どもの立場としての参加でした。ホームエデュケーションを活用し、お子さんの教育を高校までやり切った親御さんの、お子さんを守るという確固たる意志を感じるお話や、障害が原因で不安定な登校をしていたが、不登校経験者のお姉さんに支えられ、演劇の道を歩みだした女子高校生のお話など、登壇している身からしても貴重で勉強になる話でした。今回の貴重な経験やお話を活かして、より子どもたちに寄り添えるスタッフになれるよう頑張っていきたいと思います。



フリフェス出展のために立派な絵を描いてくれました。

中村のちょっと応援したくなる話

9月には桜美林大学の学生さんが公認心理士の実習として鈴蘭学園を訪れました。5日間の実習です。初日、2日目は皆さんかなり緊張していましたが、3日目、4日目にはだいぶ慣れてきて、どう対応すればよいか自ら動けるようになりました。しかし、5日目は慣れてきたのにもう終わりです。皆さん限られた時間の中で少しでも学ぼうという姿勢が感じられました。目指すべき公認心理士に向けてマイペースでも良いので一生懸命取り組んでください。

これからの鈴蘭学園は子どもたちだけでなく、子どもたちを支援する人たちの学びの場としての役割も担っていくことでしょう。

お悩みの方、ご相談ください。

自信・活力・自分らしさを取り戻すため、あなたと共に問題に向き合います。まずは、ご相談ください。

相談専用ダイヤル TEL：042-733-0015

電話相談事業は、神奈川県フリースペース等補助金により運営しています。